ゆざわ まちづくりニュースレター

第２号

温泉通りの未来を考えるワークショップを開催しました！

・湯沢町では、将来にわたり住みやすく魅力ある温泉通りであり続けるために、温泉通りのあり方について検討を進めています。
・検討にあたっては、協議会だけで完結するのではなく、町民の皆さまと温泉通りについて意見交換を行う場が必要であると考え、昨年の１１月にワークショップ※を開催した後、皆さまからのご意見を踏まえ、２回目のワークショップを開催しました。

※ワークショップとは：あるテーマについて現状や課題を共有し、解決策を話し合う場を通じて、関係者間での共通認識の形成やより良い解決策の創出などを目指すものです。

ワークショップの開催概要

・日　時（全３回）
２０２６年５月２６日 １０時/１４時/１８時

・参加された皆さま：計８名（　名）
※（　）内は事業者（店舗兼居住も含む）の数

・テーマ
「歩行者空間創出社会実験について話し合い」

▲ワークショップの様子

・前回のワークショップを踏まえて検討した社会実験の企画（町のたたき台）をもとに、社会実験の期間や方法、時間帯等について話し合い

温泉通りのあり方に関する検討とは？

・湯沢町では、将来にわたり住みやすく魅力あるまちの実現を目指しています。
・その取り組みの一環として、町民の皆さまが安心して街なかを移動でき、観光客の皆さまが「湯沢に来て良かった」と感じられる空間をつくるため、「移動」や「滞在」の視点から温泉通りに賑わいをもたらす社会実験を行い、試行を重ねながら今後のあり方を検討していきます。

▲魅力ある観光地のイメージ図（例）

ワークショップの内容

町から提案した社会実験の企画

・期間
２０２６年９月１日（火）～２０２６年９月８日（火）の８日間
・方法
歩道拡幅および車両通行止め
・時間帯
歩道拡幅：毎日１１時～２１時（２１時～翌１１時は２車線確保）
車両通行止め：木曜日～土曜日の１６時～２１時
※バリケードの設置・撤去は町職員や警備員で行います
※１日に２回（夕方と夜）に町職員でゴミ拾いを行います
・その他
期間中、実験区間でイベント開催を検討中

主なご意見

実験全般
・グリーンシーズン/この日程であれば問題ない
・荷捌き車両専用の駐車スペースがあるとよい
・実験をやってみないと分からないこともあるため、実験を実施することは賛成。実験が何かのヒントやきっかけづくりになれば良い
・若い人の声をもっと取り入れたい

ビジョン
・湯沢全体でまちづくりを考えるべきではないか
・ウィスラー（カナダ）：車を停めて歩かせる工夫を行っている街が理想湯沢の参考になるのではないか
・温泉通りの具体的な課題やビジョンがより明確に整理されていれば、アイデアや方針を定めやすいのでは

交通
・湯沢町全体で駐車場が不足している
・温泉通りではレンタカーの路上駐車が多い
・車需要に対して駐車場の供給が追い付いていない
・温泉通りの通過交通が危険に感じるため、通過交通を抑制したい

街の魅力
・駅の中で行動が完結してしまうので、越後湯沢駅から温泉通りにいかに人を誘導するかが課題
・温泉通りの魅力が少ないので、食べ歩き・テイクアウトやイベントとの連携、歩行者が求める工夫があると良いのでは
・外湯めぐりを復活してもいいのでは

今後の予定

・引き続き、町民の皆さまや関係者、協議会で議論・調整を重ねていきながら社会実験に向けた準備を進めてまいります。
・検討の過程は適宜、湯沢町HPや公式LINE、ニュースレター等でお知らせをする予定です。

問合せ先　湯沢町 企画産業観光部 企画観光課（TEL：025-784-4850）